

【とんちき千葉市してい 公金と ICT の問題をやさしく説明するレポート】

はじめに

この資料は、千葉市で行われている教育 ICT(タブレットや Google サービスなど)の使い方
やお金の流れについて、

「なんか変じゃない?」と思ったことを、

とんちきの皆さんにもわかりやすく説明するために作りました。


「難しい言葉はムリ☺」

「何が問題なのかパツと知りたい💡」

という方も安心して読めます。

何が問題なの?

千葉市では、

 子どもたちの教育に使うパソコンやタブレット

 Google や NEC などのシステム

にとっても大きなお金(何十億円単位)が使われています。

でも、そのお金の使い方やシステムの運用で

「説明があいまい」「資料が出てこない」「業者との癒着が疑われる」

といった問題がいくつも見つかっています。

ざっくり言うと、

どこに何がいくら払われているのか分かりにくいし、ちゃんと説明されない

これが最大の問題です。

どんな変なことがあった?

☒ Google のメールや管理システムの不透明な運用

→ 保護者が確認できない

→ 証拠が残りにくい

☑ NEC や Sky との契約が複雑すぎる

→ 税金がどれだけ使われているか分かりにくい

☑ 学校の説明がバラバラ

→ 書類の日付や配布記録もチグハグ

→ ICT の活用方法も学年や学校で差が大きい

☑ 公金の流れを問い合わせると曖昧な回答ばかり

→ 資料を出さない

→ 担当者が「覚えていない」と繰り返す

🌐 どう動いたの？

この問題を放置すると、

☒ 税金の無駄遣い

☒ 子どもたちの学びの不平等

☒ 保護者への説明責任の放棄

になると考え、海外の機関に通報しました。

実際に通報した先：

☑ 欧州オンブズマン

☑ 国連人権理事会

☑ EU の通報窓口

☑ 米国 SEC (証券取引委員会)

☑ その他国際団体

このことで、国際的にも「千葉市の ICT 運用は問題があるのでは？」と注目される可能性があります。

なお、この問題については

Google 本社(アメリカ)の担当ディレクター(Andrew 氏)

が既に状況を確認し、調査チームへの共有を約束しています。

これは自治体の ICT 問題としては異例の動きであり、

今後、Google 側からも公式な説明や対応が求められる可能性があります。

保護者・市民の皆さんへ

「うちの学校も同じかも…？」

「何かおかしいけどどこに相談すればいいの？」

と思ったら、この資料を参考にしてください。

不安なときは自治体や教育委員会に書面で質問を出すのが大事です。

また、もし必要であればこのレポートの配布・引用は自由です。

関連資料

詳しい証拠や通報履歴はこちらの「宿題置き場」で公開しています📄

GitHub 公開レポート集

<https://github.com/chiroru1220/chiba-ict-report>

さいごに

千葉市は「とんちき千葉市してい」と呼ばれないためにも、

ちゃんと説明責任を果たすべきだと考えています。

この資料を読んだ皆さんも、

「何が起きているのか」を知り、

一緒に声をあげてもらえたらうれしいです。